

# 育成モノづくり人材

Vol. 94

## 愛知県立半田工業高校

愛知県立半田工業高校は、県西部の知多半島で唯一の工業高校。周辺にある航空機や鉄鋼関連の製造拠点に就



山本校長

職する生徒もおり「就職先が多業種にわたる」(野田昌彦教頭)の強みだ。地域での存在感を高めるため35グループに分かれ、年生の2月に行う課題研究成果発表会を企業や技術を基にモノづく

**【DATA】**▷校長=山本忠幸氏▷所在地=愛知県半田市▷学科構成=(全日制)電子機械科、電気科、土木科、建築科▷生徒数=711人▷主要設備=3Dプリンター、マシニングセンター(MC)、トータルステーション▷主な進路=トヨタ自動車、SUBARU、大同特殊鋼、日本車両、LIXIL、名城大学、中部大学、岐阜工業高等専門学校など

回程度開いている。理科や図工の時間が減っている小学生にモノづくりへの関心を持ってもらうのが目的で、暗

### 課題研究、自ら考えて動く

関係者や中学生、保護者などにも公開するなど地域密着を掲げる。授業で力を入れてるのは3年次に週3コマ設けている課題研究。「柔軟性に富む創造性豊かなモノづくりスペシャリストが必要



生徒が小学生を教えるモノづくり体験教室「サマーアタック」

関係者や中学生、保護者などにも公開するなど地域密着を掲げる。授業で力を入れてるのは3年次に週3コマ設けている課題研究。「柔軟性に富む創造性豊かなモノづくりスペシャリストが必要

日、授業前後に実技指導の時間を設け、旋盤や電気工事、測量などの技能向上を図っている。部活動と時間が重なるため、運動部所属で文武両道を目指す生徒にとっては力の入れ方が難しい時期になる。生徒自身でバランスを取ること、「自ら考えて動く人を育てる」(服部光博教頭)方針。

課題は若手教員の育成。教員の研修機会が減っているうえ、30〜40代の教員が少ない年齢構成もあり、ベテラン教員が退職する前に引き継ぎが必要だ。(名古屋・市川哲寛)(金曜日に掲載)